

租税教室の取り組み

長岡法人会青年部会は、我が国の次代を担う児童・生徒に対し、国及び地方公共団体の財政を支える租税の意義や役割を認識させ、適正な申告と納税が国民の義務として重要であることを理解させることを目的として租税教育を行っております。

今年度の租税教室は小学校5校、中学校1校、225名の児童・生徒を対象に開催いたしました。租税教育活動により、児童・生徒から、税金の仕組み・使われ方などを理解することでその重要性を知ってもらえたと思います。

租税教室の開催校

日付	学校名	学年	生徒・児童数	担当講師
令和4年7月20日(水)	東中学校	3年生	93名	鷲尾 達雄
令和4年6月21日(火)	前川小学校	6年生	47名	鷲尾 達雄
令和4年6月16日(木)	柿小学校	6年生	18名	南雲 哲也
令和4年6月20日(月)	下川西小学校	6年生	8名	吉原 智哉
令和4年5月18日(水)	福戸小学校	6年生	23名	吉原 智哉
令和5年1月20日(金)	表町小学校	6年生	36名	鷲尾 達雄

鷲尾 達雄 講師 / 東中学校、前川小学校、表町小学校

租税教室も今年でついに13年目に突入しました。特に表町小・東中は毎年、行ってきたので、それぞれの年次での個性の違いを楽しんできた13年間でもあります。

そんな中、やはり、今年は特殊な世代と言って良いかな？と感じました。言わずと知れたコロナ世代であります。特に中学生は入学から卒業までの3年間で全てコロナによる制約を強いられた子供たちです。全ての学校生活において『大きな声を出すな!』と言われ続けた学年です。素朴な疑問として、古き良き伝統は引き継がれたのか？例えば、体育祭を例に出せば、1年生は八

東中学校



ツラツとした2年生に憧れ、2年生は3年の応援リーダー達に魅了され、知らず知らずに最高学年としての自覚を身に付けて行く訳です。しかし、彼らは、そんなロールモデルを仰ぎ見る機会を奪われてしまったのです。その代償は大きいと僕は感じます。誤解を恐れず言えば、明らかに覇気が無い！13年間の定点観測の経験からすると、そう言わざるを得ません。

しかし、しかしです。子供というのは狡猾です。与えられた環境の中で、五感を研ぎ澄まし、しぶとく雌伏の時を過ごし、高校生活で失われた3年間を取り返してくれると、確信しております！って、租税教室と関係ない話でゴメンナサイ(笑)

そうそう！是非、お伝えしたかった変化がありました。それは表町小での出来事です。授業が終わるやいなや、子供たちから私への感想・質問がまとめられているではありませんか！タブレットを自由に使いこなしているからこそ為せる業です。コロナの3年間は彼らにコインを与えてくれました。裏もあるが表もある。税金は払いたくないけど、払います！と答えてくれた彼らの未来がとても楽しみです。

前川小学校



表町小学校



吉原 智哉 講師 / 福戸小学校、下川西小学校

5月18日に福戸小学校6月20日に下川西小学校に伺い租税教室を担当させていただきました。こうして租税教室を担当させていただいてから3年になりました。

自分にとっては繰り返しになる授業も児童にとっては1度だけの授業なので、これからも『税』に対して少しでも興味を持ってもらえるような授業にしていきたいです。

『～税で知っているものはありますか?』という問いかけを毎回最初に行うのですが「消費税」より先に「固定資産税」や「所得税」がでてくることが多いことから学校での学習の成果を感じると共に生活の中で税に関する名称を耳にする機会が増えたのかなと思いました。

毎回1億円のレプリカをだした時に児童から大きなリアクションがあるのですが『YouTuberになって1億!』や『プロゲーマーになって1億稼ぐ!』と言っている子がいるのを聞くと職業の多様性と変化を感じ、自分も児童から学ぶところがありました。

福戸小学校



下川西小学校



南雲 哲也 講師 / 柿小学校

柿小学校



長岡市のキャリア教育

長岡市教育委員会

長岡市では、「子どもたち一人ひとりの個性が輝き、幸せを創り出していける教育の推進」を基本理念として掲げています。

長岡市立学校では、「オール長岡で、子どものやる気や学ぶ意欲を高め、夢を描き志をたてて生き抜く子どもを育てる教育」を推進しています。

長岡市キャリア教育教材「ながおか夢タクト」

保育園・幼稚園から長岡市キャリア教育教材「ながおか夢タクト」を作成し、活用していきます。小・中学校の特別活動を中心に学習記録を蓄積し高等学校までを見据え活用していきます。様々な体験活動を取り入れながら、子どもの自己肯定感を育み、子どもたちの豊かなキャリア形成を図ります。



中学校職場体験学習

令和4年度は、市内小学校46校、中学校は25校が、感染症対策を徹底し、職場訪問を実施しました。職場体験は、生徒が事業所などで、実際に仕事を体験したり、働く人々と接したりする活動を通して、働くことの意味や、社会人・職業人になったときに必要となる基礎的な能力の大切さを実感する貴重な機会となっています。職業調べや職場見学、マナー講習会の実施、上級学校訪問、職業講話の開催など、将来や働くことについて様々な視点から学ぶ機会を設定しています。保護者・地域・事業所等の皆様からの御理解と御協力により、多様な体験を通じた学習が学ぶ意欲やキャリア形成につながっています。



「未来を描く書道体験教室」

市内在住の書家、柳澤魁秀氏を講師に、巨大書の作成に挑戦します。表す漢字一字を真剣に選びながら、これまでの自分自身を振り返るとともに、これからの生き方について深く考えます。



「世界が先生」国際人育成事業

県内の大学等に在籍する留学生を講師として学校等へ派遣し、お互いの文化を学び理解を深めています。様々な国の文化について楽しみながら学ぶことができます。

米百俵未来塾

人材育成に取り組む団体と連携し、「米百俵」の精神をはじめ、スポーツ・文化等の学びを通して、子どもたちの視野を広げ、自ら未来を切り拓く力を育みます。

「ようこそ『まちの先生』」(※1)「学校・子どもかがやき塾」(※2)

各学校では、これらの事業を活用して、先人の知恵や地域の職業人等から直接学ぶ機会の充実を図っています。地域で育つ子どもたちは、キャリア教育の大事な視点である「ふるさと長岡への愛着と誇り」も育み、深めています。

- ※1 「ようこそ『まちの先生』」事業
地域の人材を指導者としてお招きし、学校の支援者として、教育活動に参加してもらう事業
- ※2 「学校・子どもかがやき塾」事業
子どもたちに夢と自信を持たせ、やる気や学ぶ意欲を引き出すため、学校が創意工夫して取り組む特色ある教育活動等に対して財政支援する事業

このように、地域の方や職業人から直接学び、育てられる機会をいただきながら長岡市のキャリア教育を推進しています。今後も、長岡の未来を担う子どもたちのために御理解と御協力をいただきますよう、お願い申し上げます。